

とくろ

県P連だより

編集 徳島市北田宮1丁目8-68
発行 〒770-0003 ☎088-633-1105
徳島県PTA連合会

ホームページ
<http://www.tokukenpta.com/>

子どもと共に成長していくために

会長 泉 富士夫



日頃より会員の皆様方に
おかれましては、県PTA
連合会の活動に際しましてご理
解ご協力を頂き誠にありがとうございます。

本年初頭よりコロナ禍の中、

教育の世界でも多くの困難や変

革が起っています。

今まで当たり前の事ができな

くなり、対策の為心身共に疲弊

する事が多くなっています。

当連合会でもリモート会議に

対応できるように規約改定や、

単位PTAで運用可能な事例文

書等の発出や保険対応コロナ相

談窓口の開設等を行つてまいり

ました。

まだまだ二波、三波と感染は

流行してはいますが、今回再確

てくるこの言葉を心に留め置き
子ども達の教育の原点は家庭教育
をもつて学校教育、社会教育に
ついて理解を深め責任を果たし、
子どもと共に成長して参りま
しょう。

また、県PTA連合会と致し
ましても子ども達の教育環境の
充実をより推進する為、関係機
関等や家庭・学校・地域へ連携
協力を深め情報提供、共有、發
信に努めて参ります。引き続き
皆様のご理解、ご協力をよろし
くお願い申し上げます。

本年度の定期総会は新型コロ
ナウイルス感染症の感染防止の
ため書面決議で行いました。そ
の結果、全ての議案について、
議決権行使書提出者全員の賛成
をもって可決されました。

令和二年度 役員

会長 泉 富士夫
(役員会推薦)

副会長 半山 剛志
(名西)
(阿南)

井本 友子
(役員会推薦)

上野弘一朗
(役員会推薦)

佐藤 央
(役員会推薦)

板東 二郎
(阿波)

清原 裕登
(阿南)

顧問 永瀬 浩幸
(吉野川)

監事 楠田 昌明
(板野)

研修委員長 先田 仁美
(板野)

理事 木下 遠藤 横谷 野田
(那賀)

監事 山口 奈美
(小松島)

研修委員長 北地 克匡
(吉野川)

監事 楠田 昌明
(吉野川)

監事 木下 淳夫
(三好)

監事 中津 洋久
(勝浦)

監事 松田 貴志
(那賀)

監事 榎谷 将志
(海部)

監事 野田 積嗣
(美馬)

監事 榎谷 淳夫
(つるぎ)

県P連総会

秋山 和雄
(県小学校長会代表)

向原 敬夫
(県中学校長会副会長)

中津 洋久
(鳴門)

松田 貴志
(勝浦)

榎谷 将志
(那賀)

野田 積嗣
(海部)

遠藤 淳夫
(美馬)

木下 淳夫
(つるぎ)

山西 茂
(三好)

楠田 昌明
(小松島)

水穂 木下
(板野)

山口 奈美
(吉野川)

永瀬 浩幸
(板野)

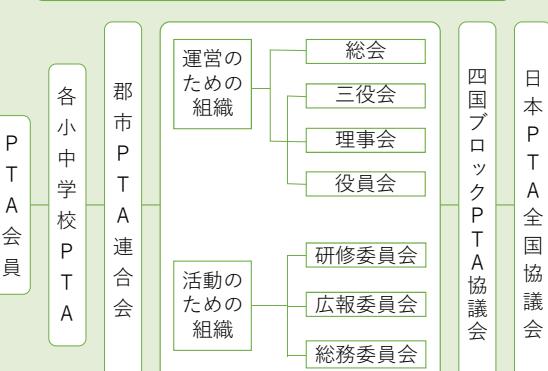
先田 仁美
(吉野川)

北地 克匡
(吉野川)

仁美(鳴門)
(吉野川)

吉野川
(吉野川)

徳島県PTA連合会はどんな組織?



徳島県PTA連合会って何をしているの?

- ・ 郡市PTA連合会に様々な情報を発信します。
- ・ 各種大会や研修会の実施、活動の要望また表彰等を行います。
- ・ 会員の支援のための助成活動を行います。
- ・ 関係団体との連絡・協力を行います。

中部ブロック 名西郡PTA連合会

会長 半山 剛志

名西郡PTA連合会は、石井町PTA連合会・神山町PTA連合会の2支部で組織され当郡PTA連合会は、会長、副会長、家庭教育、監事、事務局の役職で構成されています。

地域ぐるみで子どもたちが明るく希望をもてるよう様々な取り組みをそれぞれの組織で行っております。

当郡PTA連合会のスタートは毎年5月に開催される名西郡PTA連合総会からはじまり、前年度を振り返るとともに本年度の活動に生かせる話し合いを行っています。総会が各単Pが揃っての初めての活動ですが、運営協議をし連携を図ることで新しい取り組みが生まれます。

年間行事の中で毎年最初に行われている町Pレクレーションでの球技大会。

毎年6月の第四日曜日に開催しておりソフトボールとバーボールの2競技が行われます。

各幼・小・中が参加しソフトボール、バーボールで各30チーム程が、ルールを守りながら



毎年楽しく、熱い試合が繰り広げられています。本大会や、スポーツを通じて地域の会員との連携プレーや親睦も深めるきっかけとなっています。

毎年開催しております「名西郡学校保健研修会」では学校における保健の研究並びに保健思想の普及発達を図り、幼児・児童・生徒の健康増進、郡内学校保健の向上や推進を目的に行われています。

また人権教育では学校から家庭・地域へつながる人権尊重の町づくりをテーマに女性・子ども・高齢者・障がい者など様々な個別人権課題の解消に向け、広がりのある活動も行っています。

今年度は新型コロナウイルス感染症対策の為中止になったり、それが小規模での活動となったりしていますが、次年度にも生かせる活動をしていきたいと思います。



我が家ステイホーム



2月末に突然の休校を余儀なくされ、緊急事態宣言により外出自粛要請も出される中、“我が家”のステイホーム”として大変だったことや逆に良かったことなどのエピソードをご紹介します。



★我が家コロナ対策

緊急事態宣言が出されてから、我が家でコロナ対策の話し合いを行いました。

- ①基本的には必要不可欠な外出以外は控える。
 - ②こまめな換気、手すりやドアノブの消毒
 - ③マスクの着用や帰宅後すぐのシャワーなど…
- 基本的なことですが、家族で習慣となり現在も継続中です。
(石井町 M. I)



★我が家ステイホーム

私の家族は、97歳の大きいばあちゃんと75歳の小さいばあちゃんと夫婦、2兄弟の6人家族です。普段は、夫婦ともに勤務交代でなかなか6人で揃う事がないのですが、コロナ禍で何度も揃う事がありました。そんな時、みんなでトランプしたりテレビを観たり、少しでも同じ空間にいる事が有り難いと思う気持ちになれました。口には出さないけど、何か不安があるのでしょうね。手洗い、うがい、消毒、当たり前の事だけど習慣になっています。感染しない、させないためにお互いを思いやるからこそできる事ですよね。

(阿南市 T. I)

★我が家コロナ対策

普段、寮生活を送っている高校生の長男も帰省し、中学生の次男との巣ごもり。2人とも部活をやっていることもあり、1回の食事の量が半端ない。もちろん食費も半端ない。寮の食事や学校給食に感謝する今日この頃です。

(美馬市 K. A)

★テニス三昧

小6の息子は硬式テニスを習っており、スクールが休みにならなかったので、通常の週6テニス三昧の日々を送っていました。大きな試合はなくなったものの、長期休みになってしまったスクールもある中で、毎日大好きなテニスをさせていただけたことに改めて感謝の気持ちでいっぱいでした。当たり前が当たり前でなくなるという事、当たり前の日常に感謝の気持ちを持てるという事を、皮肉にもこのコロナで学びました。

(鳴門市 H. S)

★我が家コロナ対策

「待機・・・。」この一言につきます。
新型コロナウイルス感染症防止のため学校休校が決まり、祖父母に子どもたちを任せ、多大な負担をかけ、休日に出かけることもなく、自宅で待機する日々。また、不足した「マスク」「体温計」を求め、ドラッグストアをめぐる日々でした。

(つるぎ町 S. M)



★我が家ステイコロナ

コロナ感染予防対策により、我が家は一変しました。コロナが発生するまでは毎週末、バーボールの練習や試合で出かけていました。コロナ発生後は、家でゆっくり過ごす機会が増えました。目標がなくなり、子どものモチベーションが下がったことは残念ですが、家族団らんが増えたことは良かったかな?と感じています。

(宍喰町 A. E)



ブロック別PTA活動紹介

～地域の伝統を守り 未来へつなげよう～

家庭・学校・地域の連携

★次号のブロック別PTA紹介は、那賀郡P連、つるぎ町P連です。

南部ブロック 勝浦郡PTA連合会

会長 松田 貴志

勝浦郡PTA連合会は、勝浦町3校（横瀬、生比奈両小学校と勝浦中学校）、上勝町2校（上勝小学校、上勝中学校）の計5校で構成されています。

少子高齢化や過疎化により、各学校の児童・生徒数は減少の一途を辿り、令和2年度の児童数は横瀬小学校78名（55世帯）、生比奈小学校112名（85世帯）、上勝小学校38名（29世帯）、生徒数は勝浦中学校98名（88世帯）、上勝中学校13名（12世帯）になっています。

それぞれの単P毎に各専門部会を設置して、さまざまな事業を実施していますが、郡P連としての行事は総会、役員会等の各種会合のほかは、毎年6月に郡PTA連合会加盟5小中学校と勝浦町にある小松島西高校勝浦校PTAが参加して、郡P連球技大会（ソフトバレーボール）を実施しています。昨年度は各学校から2チームずつ合計12チームが参加して3チームずつ、4グループによるリーグ戦を行い、それぞれの1位チームによる決勝トーナメント方式での開催になりました。小松島西高校勝浦校については、郡内唯一の高等学校として以前より交流、親睦等を目的に勝浦高校時代より伝統として継続されています。

令和2年度については新型コロナウイルス感染症の影響により、総会のみ開催しましたが、それ以外の事業（球技大会）は残念ながら実施できていません。活動が自粛される中で、あらためてPTA活動の意義、目的について考えさせられる機会となりました。

他地域と同様に勝浦郡では児童・生徒数の減少に伴い加盟世帯数と教職員が減少しています。さらには多様化する保護者のニーズや煩雑化が進む学校の事務作業に対応する「働き方改革」を実践するためにも、PTAの事務局機能や事業実施に伴う業務分担等、「現状のままで良いのか？」との観点から、PTAとして事業の選択と集中が図られることも大切です。

中でも各地域で活動しているPTAの全国組織である「公益社団法人日本PTA全国協議会」の綱領にもあ

るよう、「社会教育及び家庭教育の充実に努めるとともに、家庭、学校、地域の連携を深め、子どもたちの健全育成と福祉の増進を図り、もって社会の発展に寄与する」とありますが、「地方分権」「地方創生」と地域の特色を生かした、いわゆる「まちづくり」が実践される中で、「PTA」の役割自体も地域によって千差万別、多様性があつて然るべきと考えます。さらにwithコロナ時代に対応する組織の在り方を考慮すると、活動の原点でもある綱領で謳われている目的を達成するためにも、保護者と学校に加え、今まで以上に地域住民が深く関わることのできる組織「PTCA」(PTA+Community)への発展が必要ではないでしょうか。

私の地元、勝浦町では令和2年度よりコミュニティスクール（学校運営協議会）制度を導入し、地域住民が学校運営に対しての関与を強める、地域と学校が持ちつ持たれつの不可分の関係構築に向けての歩みを始めました。以前より、総合学習での職場体験や町探検、各種行事への参加等、地域住民との関わりは深いものがありました。今後は学校の運営方針や教職員の任用に関しても意見することができます。

しかし、以前から設置されている「学校支援地域本部」等と目的や事業内容が重なることから、教育委員会に対してそれぞれの組織が一体的に、効率的に運用、活動できるような組織体に統合できないか働きかけをしています。今回のコミュニティスクール導入をきっかけとして、組織の統廃合はもちろんのこと、保護者や教職員、地域住民が「できること」「できないこと」を整理して、子どもたちや学校に足りない部分を補い合える「互助の精神」を中心に掲げた組織づくりが必要と考えます。

勝浦郡をはじめ多くの地域で児童・生徒数が減少し、学校運営はもとよりPTAや子ども会などの活動に支障をきたしています。コロナ禍で多大な影響を受けている子どもの未来、地域の未来のために、今を生きる私たちが考え行動しなければなりません。いま一度「PTA」の意義や目的を振り返り、一歩ずつ進んで行くための処方箋をみんなで考えていきたいです。



西部ブロック 吉野川市PTA連合会

会長 山口 奈美

本年度の吉野川市PTA連合会は、11小学校・5中学校で構成されており、児童・生徒数は2,633名です。

各学校のPTAが学校ごとの行事や活動、吉野川市PTA連合会の活動を熱心に行っています。本年度は、昨年度末に実施された新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休業、新年度以降も続いた臨時休業や分散登校による授業時間の確保や感染拡大防止のため、ほとんどの学校行事・PTA行事が中止や延期になっている状況です。そこで今回は、吉野川市PTA連合会の例年の取組やここ数年の活動について報告させていただきます。

毎年秋に市内で開催される「人権のつどい」には、吉野川市PTA連合会の人権・家庭教育委員会が中心となって企画運営を行っています。この「人権のつどい」は、人権教育・各種人権問題に関すること、家庭教育に関することの普及啓発を目的としています。昨年度は牛島小学校が事務局を務め、オープニングとして牛島小学校PTAによる実践発表「つながり」で育つ牛島小学校」のテーマでの発表がありました。その後阿波市民劇団「千の舞い座」による人権劇「千の舞い～ふるさとへ帰りたい～」の上演がありました。「千の舞い座」は、ハンセン病やハンセン病回復者の人権問題を正しく知ってほしいという願いのもと結成されたボランティア劇団で、県内各地で上演をされています。この劇はあるハンセン病回復者である女性の半生を脚本化したもので、劇を通じてハンセン病について正しい知識と理解を持つとともに、差別や偏見をなくすためにどうすればいいか、自分たちに何ができるのかを考えもらおうとするような内容でした。

本年度は、学島小学校が事務局となり、11月14日（土）の午後1時から、山川アメニティーホールで開催される予定です。学島小学校の児童やPTAの会員さんによるこれまでの取組に関する発表や人権コンサートが計画されています。新型コロナウ



イルス感染症拡大防止の観点から、制約や不便な点があるかと思いますが、本市P連主催行事として14年の歴史があるこの行事を、継続・発展させていくために市P連としても協力をていきたいと思います。

また、以前は吉野川市PTA球技大会が毎年8月下旬に開催されていて、吉野川市PTA連合会の厚生委員会が中心となって企画運営を行っていましたが、平成29年度からは、夏季休業日の短縮や熱中症対策のため、市内一斉の実施を中止し、各中学校区単位で親睦球技大会を実施しています。

平成28年度には、本県で第64回日本PTA全国研究大会徳島うしお大会が開催され、吉野川市は、8月20日（土）に鴨島公民館を会場にして、第4分科会「人権教育」で発表を行いました。

当日は西麻植小学校のPTAが「地域とともに歩んだ人権教育活動」のテーマで、小学校と地域が一体となって人権学習に取り組んできた実践を発表することができました。西麻植小学校区には、およそ50年にわたって続く、小学校の5・6年生が少人数グループに分かれて宿泊し、人権学習をする活動があります。国の対策のための法律が期限を迎えたあとも、地域の保護者の熱意によって吉野川市単独の事業として現在も継続しています。他にも小学校の教員とPTA会員が一緒に保護者の家庭を訪問して、人権問題について話し合いをするという実践も伝統がある活動です。どの会員さんも「この機会に自分たちが取り組んできた人権教育を全国に発信したい！」と明るく前向きに、発表に取り組んでいました。この発表に向けての取組の中で、地域の方々のふるさとに対する誇りや自負、地域の子どもたちへの深い愛と情熱を感じることができました。

新型コロナウイルス感染症の広がりという困難を必ず乗り越えて、吉野川市PTA連合会の活動がさらに発展していくよう、会員が一丸となって取り組みます。引き続きご支援ご協力の程よろしくお願ひいたします。



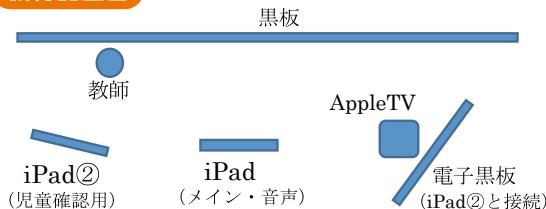
徳島県PTA連合会 小・中学生総合保障制度 自転車総合保障制度

【AIG 損害保険代理店】株式会社 TIS&トータルプランニング 〒770-0852 徳島市徳島町 2-22 TISビル 2F TEL:088-622-7151 担当：奥野・山田

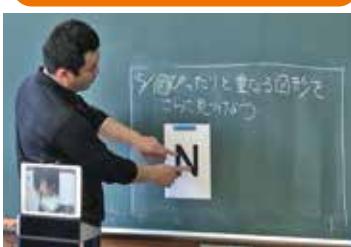
詳しい内容は
パンフレットを
ご覧になるか
取扱代理店に
お問い合わせ
ください

Zoom を活用したリモート学習の実践例（那賀町立相生小学校）

機材配置図



実践例①（黒板を使った指導）



タブレットできちんと見える距離を考え、黒板の一部分を活用していました。タブレットには小さく映るため、子どもたちに見やすくするよう、黒板の使い方を工夫していました。この授業では、算数の「点対称」の単元をしており、テレビ通話を通して実際に動作を見せてることで、児童の理解を深めていました。実際に授業をしていると、かなり大きな声で授業をしないと、マイクが声をひろってくれないときがあります。そこで今回は、【ハンズフリー】で授業を行っていました。iPad①を三脚に立てて固定化し、iPad①にワイヤレスイヤホンを接続することで、iPad①から離れていても児童とコミュニケーションがとれるように工夫されていました。

また、iPad の画面は先生からは見えなくなっています。理由は、iPad①のインカメラを使用すると映像が反転（鏡）になってしまうためです。子どもたちからは反転になっていませんが、教師が確認するには見にくいです。しかし、これでは児童の様子をうかがいながら授業を進めることができません。これを解決する工夫として、iPad②を活用しています。iPad②は音をひろわないようにミュートにしておく必要があります。iPad②を子どもたちと同じように Zoom 会議に参加させて、その映像を AppleTV 経由で電子黒板に映し出すことにより、電子黒板の大画面で複数人の児童の様子を見ながら進めることができました。

実践例②（Zoom の共有機能を活用した指導）

Zoom 研修会でご紹介した、共有機能も活用していました。事前に準備していた教科書の写真を共有で映して、ポイントに下線や丸を書き込むなどの工夫をしていました。このとき画面は共有された画像に切り替わっているので、先生はタブレットの前で話しながらポイントを整理することができます。

Zoom をつないだまま、ロイロノートを使うこともできます。音声のみでつながっていますので、指示を出しながら課題を提出してもらい、学習内容の理解を深めました。



リモート学習の成果と課題

【成果】

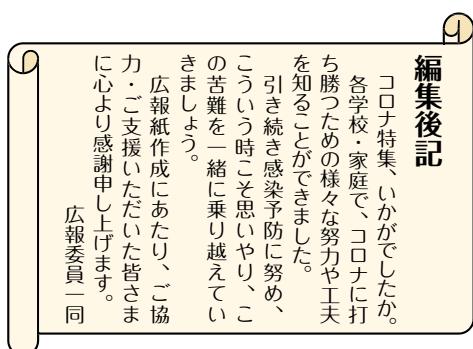
- 家庭訪問はできなかったが、朝の健康観察を毎日行うことができ、児童とのコミュニケーションを図れた。
- なかなか発表が苦手な子も、機器が音をひろってくれるので、多くの子の意見を聞くことができた。
- 校区が広く、近くに同級生がいないため、臨時休校で会えない友達と Zoom によって会話をすることを楽しんでいた。
- ゆっくりと授業を進めることができた。残りの時間をワーク学習などにすると、質問がいつもよりあったので、説明することができ、個別学習にも生かすことができた。

【課題】

- ミュート機能を使って上手に発表などを行えたが、ノートを書く音など雑音もよくひろってしまう。
- 机間巡視ができないため、タブレットの向こうできちんとノートなどをとれているのかが、なかなか確認できない。つまずきを発見しにくいのではないかと思う。

※この原稿は令和2年5月に相生小学校で実施されたリモート学習の様子を取材し、取りまとめたものです。

那賀町教育委員会



子供たちの健やかな育ちのために
「とくしま親なびげーたー」を派遣します！

学校（園）全体でのPTAの研修に！
学年・学級懇談会の新たな形として！
地域での家庭教育の充実のために！

ぜひ！ご活用ください！！

お問い合わせ
電話番号：088-621-3148
FAX番号：088-621-2884
メールアドレス：syougaigakusyuuka@pref.tokushima.jp

とくしま親なび 検索